平成26年度研究科横断型教育プログラム(Aタイプ)授業科目

A タイプ 開講 (研究科 方式 開講型)		研究科	名 総合	総合生存学館		カテゴリー		環境・生命・医療科 目群/自然科学総 合科目群	横断区分	文理横断型	
授業和(英	科目名	環境防災生存学特論 (Advanced Studies Harmonizing Disaster Management and Environmental Conservation)				講義担当者 防 所屋·氏名 防		防	生存学館・山敷 庸亮 災研究所・寶 馨 研究所・矢守 克也	開講 場所	近衛館 401
配当学年			単位 数	2単位	開講期	#	前期	曜 時 限	水4限 (14:45-16:15)	授業形態	講義

[授業の概要・目的]

(授業概要)自然災害の防止・軽減のための社会基盤施設が河川流域や沿岸域の環境に与える影響は少なくない。この授業を通じて、国内外における災害の事例、環境悪化の事例、防災と環境保全の調和を図った事例を紹介しつつ、環境への悪影響や災害を極力減らすための考え方や技術について、様々な事例紹介および社会科学的・心理学的アプローチを通じて教員と学生による対話型の議論を展開する。

(学習目標)人類の生存にとって環境の保全と自然災害の防止・軽減は極めて重要な課題であるが、この両者は時に相反する。このことを多様な事例を通じて学ぶとともに、相反する事象をどのように調和を取るか、地域に応じた技術的・社会的対策を数多くの事例の学習を通じて自ら考える能力を身につけることを目標とする。

【研究科横断型教育の概要・目的】

災害についての基礎的な知識と、災害と地球環境問題との関連性、そして災害と社会科学的/心理学的アプローチについて学び取ることを目的とする講義であり、自然科学や工学のバックグラウンドだけではなく、人文社会分野の方々についても受講されることを奨励したい。

〔授業計画と内容〕

(山敷 庸亮、寶 馨、矢守 克也/15回 講義)

【第1~2回】 概説 気候変動と災害事象 (山敷)

【第3~4回】豪雨災害 極端気象による豪雨災害の増加 気象レーダーの利用と気候変動 (寶)

【第5~6回】洪水災害防止と環境

【第7~8回】河川環境と防災

(寶) (寶)

【第9回】 環境・防災問題に対する社会学的アプローチ (矢守)

【第 10 回】 環境・防災問題に対する心理学的アプローチ (矢守)

【第 11~12 回】大気海洋相互作用と災害 (山敷)

【第 13~14 回】複合災害と環境への影響 (山敷)

【第 15 回】 まとめ (山敷)

〔履修要件〕

特に無し

〔成績評価の方法・基準〕

講義中に行う簡単なレポートと、最終回に提示するレポートにより評価する。

〔教科書〕

特に無し

[参考書等]

寶馨、戸田圭一、橋本学(編):「自然災害と防災の事典」、丸善、2012

〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕

担当教員が講義の際連絡方法を提示するため、それに従う。